

株式会社流山ツーリズムデザイン
法人の経営状況を説明する書類

令和7年9月4日提出

参考

●地方自治法（抜粋）

（予算の執行に関する長の調査権等）

第二百二十一条（第1項及び第2項省略）

3 前二項の規定は、普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるもの、普通地方公共団体が借入金の元金若しくは利子の支払を保証し、又は損失補償を行う等その者のために債務を負担している法人で政令で定めるもの及び普通地方公共団体が受益権を有する信託で政令で定めるものの受託者にこれを準用する。

（財政状況の公表等）

第二百四十三条の三（第1項省略）

2 普通地方公共団体の長は、第二百二十一条第三項の法人について、毎事業年度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

（第3項省略）

●地方自治法施行令（抜粋）

（普通地方公共団体の長の調査等の対象となる法人等の範囲）

第百五十二条 地方自治法第二百二十一条第三項に規定する普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものは、次に掲げる法人とする。

（第一号省略）

二 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社

（第三号及び第2～5項省略）

（法人の経営状況等を説明する書類）

第百七十三条の二 地方自治法第二百四十三条の三第二項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

（第2項省略）

株式会社流山ツーリズムデザイン

1. 法人の概要（令和7年8月1日現在）

（1）設立形態

株式会社

（2）設立年月日

令和2年8月26日

（3）所在地

流山市流山一丁目4番地の1

（4）資本金

49,350,000円

（うち流山市出資額25,000,000円、出資割合50.66%）

（5）設立目的

流山市の地域資源を活用し、地域の事業者や団体、行政等の多様な関係者と連携しながら、観光地域づくりを推進することを目的とする。

（6）代表者

代表取締役 吉河 智彦

（7）役職員数

役員数 8人

うち常勤 1人（うち流山市派遣0人、うち流山市退職 0人）

うち非常勤 7人（うち流山市現職0人、うち流山市退職 0人）

職員数 4人（うち流山市派遣0人、うち流山市退職 0人）

パート職員 24人（うち流山市派遣0人、うち流山市退職 0人）

（8）流山市所管課

経済振興部流山本町・利根運河ツーリズム推進課

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日 現在

株式会社流山ツーリズムデザイン

(単位： 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	24,124,258	【流動負債】	18,239,950
現金及び預金	13,779,616	短期借入金	8,000,000
売掛金	8,449,621	未払金	8,470,150
商品	1,432,491	未払法人税等	180,000
立替金	462,530	預り金	204,400
【固定資産】	53,867,305	未払消費税等	1,385,400
有形固定資産	53,267,745	【固定負債】	32,010,000
建物	30,781,963	長期借入金	32,010,000
建物附属設備	1,506,316	負債の部 計	50,249,950
車両運搬具	245,835	純資産の部	
工具、器具及び備品	4,495,194	科目	金額
土地	16,238,437	【株主資本】	30,197,168
無形固定資産	176,000	資本金	49,350,000
ソフトウェア	176,000	利益剰余金	△19,152,832
投資その他の資産	423,560	その他利益剰余金	△19,152,832
出資金	1,000	繰越利益剰余金	△19,152,832
長期前払費用	63,250		
長期預け金	9,310		
差入保証金	350,000		
【繰延資産】	2,455,555		
創立費	19,971		
開発費	2,435,584	純資産の部 計	30,197,168
資産の部 計	80,447,118	負債及び純資産の部 計	80,447,118

損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

株式会社流山ツーリズムデザイン

売上高	137,033,529
売上値引及び戻り高	△113,374
売上高	137,146,903
売上原価	6,043,304
商品期首たな卸高	490,065
商品売上原価	6,043,304
総仕入高	6,985,730
商品期末たな卸高	1,432,491
売上総利益	130,990,225
販売費及び一般管理費	89,709,562
広告宣伝費	584,032
役員報酬	10,000,000
給料手当	30,690,188
福利厚生費	677,573
交際費	253,580
通信費	1,686,139
消耗品費	6,385,030
租税公課	2,856,990
減価償却費	3,921,457
修繕費	817,557
保険料	139,310
研究開発費	33,450
法定福利費	3,385,035
研修費	52,010
外注費	22,391,375
支払手数料	815,618
地代家賃	2,391,150
運賃及び荷造費	17,194
寄付金	10,000
水道光熱費	1,676,312
事務用消耗品費	5,130
車両費	70,714
会議費	35,491
諸会費	43,100
旅費及び交通費	106,095
雑費	28,280
管理諸費	636,752
営業利益	41,280,663
営業外収益	441,737
受取利息	6,406

損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

株式会社流山ツーリズムデザイン

雑収入	435,331
営業外費用	3,110,847
支払利息	810,517
雑損失	2,300,330
経常利益	38,611,553
特別利益	340,000
固定資産売却益	340,000
税引前当期純利益	38,951,553
法人税等合計	180,000
法人税、住民税及び事業税	180,000
当期純利益	38,771,553

書 告 報 價 原 造 製

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

株式会社流山ツーリズムデザイン

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

株式会社流山ツーリズムデザイン

株主資本

資本金	
当期首残高	49,350,000
当期末残高	49,350,000
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
当期首残高	△57,924,385
当期変動額	
当期純利益	38,771,553
当期末残高	△19,152,832
純資産合計	
当期首残高	△8,574,385
当期変動額	
当期純利益	38,771,553
当期末残高	30,197,168

個 別 注 記 表

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

株式会社流山ツーリズムデザイン

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

《資産の評価基準及び評価方法》

〈有価証券の評価基準及び評価方法〉

移動平均法による原価法を採用しております。

〈たな卸資産の評価基準及び評価方法〉

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

《固定資産の減価償却の方法》

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降に取得した建

物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

【貸借対照表に関する注記】

《消費税及び地方消費税の会計処理》

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

《発行済株式の種類及び総数に関する事項》

〈発行済株式〉

〔普通株式（発行済株式）〕

{前期末株式数（発行済普通株式）}

4,935株

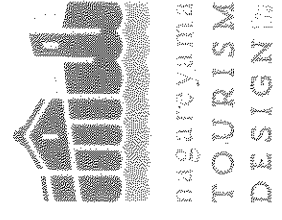
{当期末株式数（発行済普通株式）}

4,935株

事業報告

株式会社 流山ツーリズムデザイン

2025年7月29日



経営状況について

期初目標値である売上高110M、経常利益28Mに対し、売上高137M、営業利益41Mと第5期決算の経営成績をご報告します。

- ・ 指定管理事業（一茶黎明）、万華鏡ギャラリー、癒淹、本社の運営経費を縮小。
- ・ 業務委託（イベント）、民間企業へのアドバイザーを現在の人員で回すことにより営業利益は大幅に黒字化。

単位：千円

	FY22 2021/4-2022/3	FY23 2022/4-2023/3	FY24 2023/4-2024/3	FY25 (確定) 2024/4-2025/3
売上高 (市からの受託等)	58,730 (57,423)	68,824 (45,984)	70,669 (53,700)	137,033 (86,050)
売上原価	2,913	8,231	11,565	6,043
売上高総利益	55,816	60,593	59,104	130,990
販管費	62,831	82,401	81,743	89,709
営業利益	▲7,014	▲21,808	▲22,639	41,280
当期利益	▲8,956	▲22,334	▲23,821	38,951
借入金残高	0	43,621	61,770	40,010

前経営者から引き継いだ重要タスクはFY24の上期に解消し、下期には、白みりんミュージアム、共創MaaSといった観光まちづくり事業を推進することができました

事業の進捗状況

既存事業の見直し	観光地域づくり法人	2024/3/28観光地域づくり法人として観光庁に登録 2024/2 歴史的資源を活用した観光街づくり（面的展開地域に登録申請）
	会計・労務のDX化	- 会計Freee、人事労務Freeeを導入 - Microsoft365(teams,sherepoint,outlook,onedrive,copilot) による業務効率化
新事業	組織体制整備	- 業務実施体制の見直しによる従業員の整理 - 新規事業（癒淹、白みりんミュージアム）の中核人材の採用とチームング - 既存事業（一茶・黎明）の中核人材の採用、流山FECより1名採用
	資金調達	- 指定管理（一茶黎明）業務委託（万華鏡）、総務における事業収支の黒字化 - 借入金は61,770千円から40,000千円と返済を進めた
新事業	日本茶屋 癒淹	ウォークアブルなまちづくりをサポートする施設の整備
	国交省共創MaaS	- 電動キックボードのエリア拡大（流山おおたかの森、南流山）と車両台数の増加（20台→100台） - 交通の実証事業として流鉄と連携した流山ステーションファースタを開催
新事業	白みりんミュージアム	- 魅力の発信と観光客の送客拠点となる白みりんミュージアムの指定管理を受託（11月） - キッチンかもしアール、ショップながれやまぐりなどを含む白みりんミュージアムのオープン（3月）
	国の補助事業の申請	- 歴史的資源を活用したまちづくり推進補助金（観光庁）（3月） - 交通空白リデザインプロジェクト実証運行事業（国土交通省）（4月） 「食」の強みを最大限活用したガストロノミーツーリズム事業（5月）

白みりんミュージアムを核とした「ツーリズムの型」をあぶり出せるようなイベントを実証的に、ステークホルダーとの思考・行動様式の形式知化を行うことが肝要です

白みりんミュージアムを活用した エッジの立ったコンテンツ造成

- 行政区域を超えた事業者との連携、キックマンなどの大手企業との連携したエッジの立ったコンテンツを造成する。

日本食を中心とした食領域に 深い知見を有する アンバサダーの選定

- 流山本町地域に数多くのステークホルダーを集めるためには、強い情報力を持ったアンバサダーを選定することが重要である。
- 特に、流山市と地縁があり、日本食を中心とした料理に知見の深いアンバサダーと連携することで、食領域に興味を持つ幅広い参加者にアプローチする。

地域事業者との密接な 体験・対話を通じた 思考・行動様式の共同化

- 事務局メンバーが地域事業者との密接なイベントの共同作業を行い、つづぎな対話を通して、思考・行動様式の共同化を行うことで、白みりんミュージアムと事業者との心の距離を縮め、本施設との関係性を深める

ツーリズム事業者を巻き込んだ 実証成果の総合的な整理

- 構想策定～旅行商品の共同開発～商品化に至る一連の創作活動の実証活動を総合的に分析することで、ツーリズム商品としての実証成果をあぶり出せるように推進していく

下総発酵醸造観光圏の 裾野拡大に繋げるための プロフィット還元メカニズムの構築

- 発酵醸造観光圏の裾野を広げていくためには、行政区域を跨いだ取組がどの程度経済波及効果をもたらすか捕捉していく必要がある。
- 貴市と野田市、当社とキックマンが連携し、地域の事業者ともプロフィットシェアすることで、地域が、経済的な側面でもインセンティブを獲得できるメカニズムを構築する必要がある

FY25は指定管理事業による収益を確保しながら、観光地域としてのインフラを整え、発酵・醸造をテーマに人を呼び込む持続可能な観光地域づくりの仕組みづくりを行います

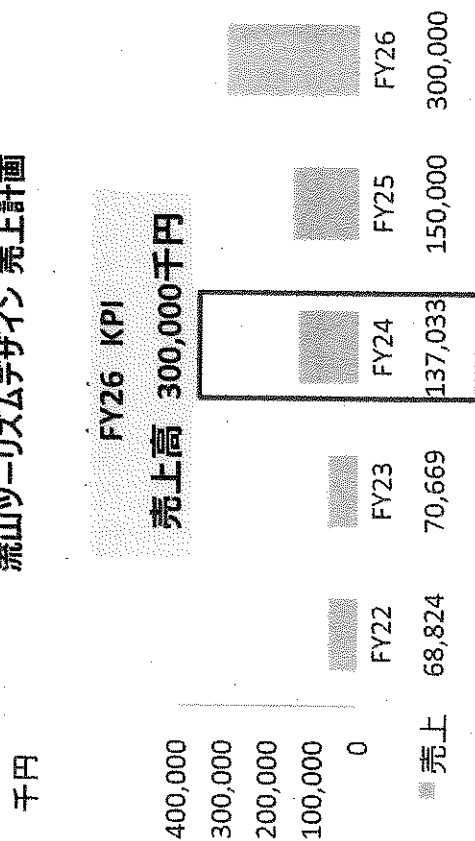
経営戦略

- ✓ 新規事業展開による収益の拡大
 - ・万博による流山白みりんのPR
 - ・新規指定管理事業の受託
- ✓ 国の補助金等を活用した観光地域づくり
 - ① 歴史的資源を活用した観光地域づくり
 - ② 共創MaaS（実証運行事業）
- ✓ 下総発酵醸造観光圏の設立と裾野拡大
 - ・野田市、佐倉市、神崎町への拡大
 - ・下総発酵醸造観光圏の組織設立
- ✓ 旅行商品の造成による観光客の呼び込み
 - ・第三種旅行業登録
 - ・研修旅行等の受注型旅行商品の企画と造成

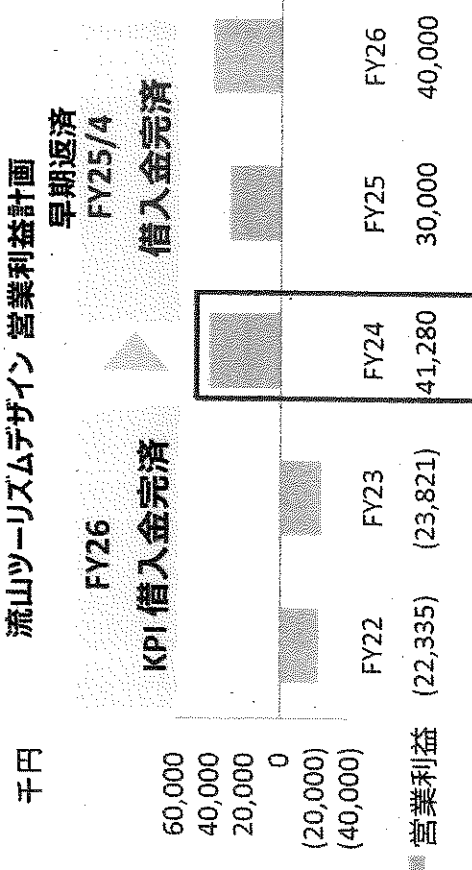
採択

採択

流山ツーリズムデザイン 売上計画



流山ツーリズムデザイン 営業利益計画



下総発酵醸造観光圏とは

江戸川・利根川の水運を中心に栄えた発酵醸造圏では、食文化や自然環境を活かした観光体験を提供し、訪れる人々にとって特別な顧客体験価値を提供できる肥沃な土壌がある

下総発酵醸造

観光圏とは

- ・ 江戸川、利根川の水運を使った、発酵や醸造に関連する文化や産業が集積している地域。
- ・ 下総発酵醸造観光圏は、酒蔵見学、工場見学、発酵食品を体験しながら旅ができる。

下総発酵醸造観光圏

発酵醸造関連企業

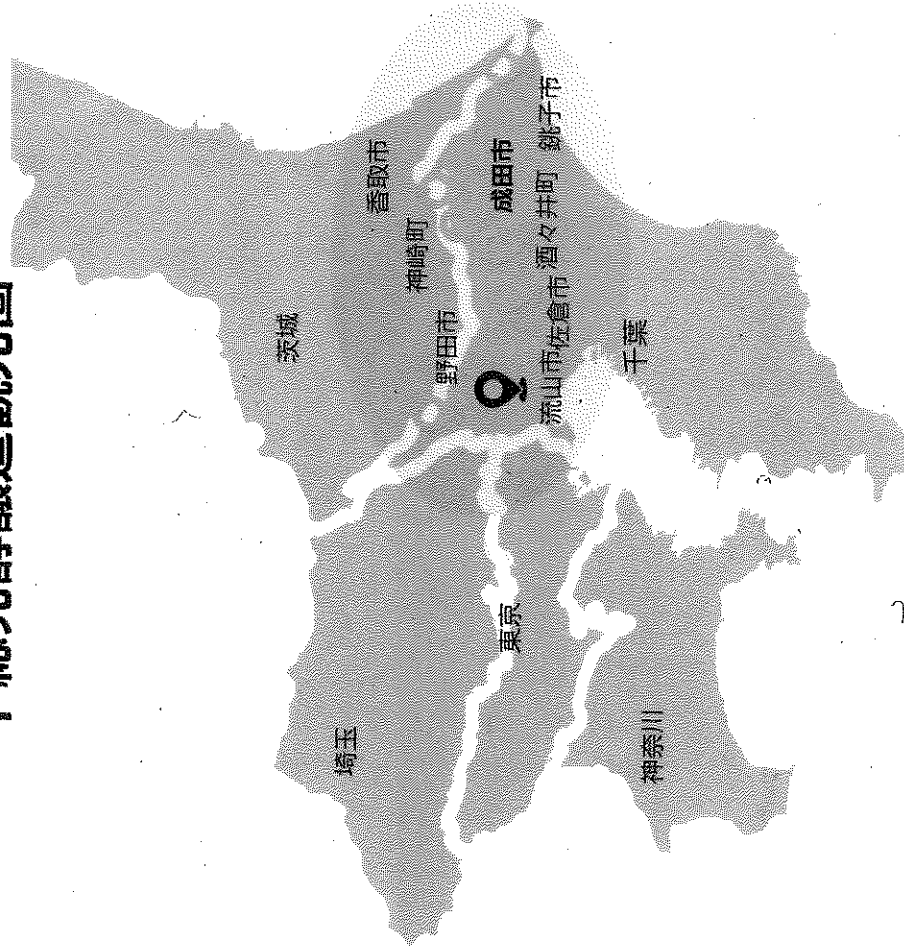
❶	流山市	流山キッコーマン (白みりん)
❷	野田市	キッコーマン (醤油) 窪田酒造 (みりん) キノエネ醤油 (醤油)
❸	佐倉市	ヤマニ味噌 (味噌)
❹	神崎町	鍋店 (日本酒)
❺	香取市	寺田本家 (日本酒)
❻	成田市	滝沢本店 (長命泉)
❼	酒々井町	飯沼本家 (甲子)
❽	銚子市	ヤマザ醤油 (醤油) ヒゲタ醤油 (醤油)

人を動かすツーリズム

JTB,近畿日本ツーリスト、日本旅行など

歴史を裏付けるアカデミア

- ❶ 佐倉市 国立歴史民俗博物館
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構



発酵ガストロノミーエリア

白みりんミュージアムを核とした観光まちづくり

白みりんミュージアムを核として、ガストロノミクスをテーマに下総地域の横連携の強化を行い、観光客を呼び込むことで地域を活性化していきたい

流山本町の観光まちづくりの目指す姿

- 初めて流山を訪れた観光客が「ここは白みりんのまちなんだ」と感じられるような価値を提供する
- 白みりん発祥の地として住民の地域愛・郷土愛の醸成につなげていくことを目指している ※白みりんミュージアム施設整備基本計画参照

流山市の課題

白みりんの魅力発信

- ・ 流山市を来訪する観光客等に対して、市の魅力を伝えることによる交流人口の増加したい

将来を担う人材育成

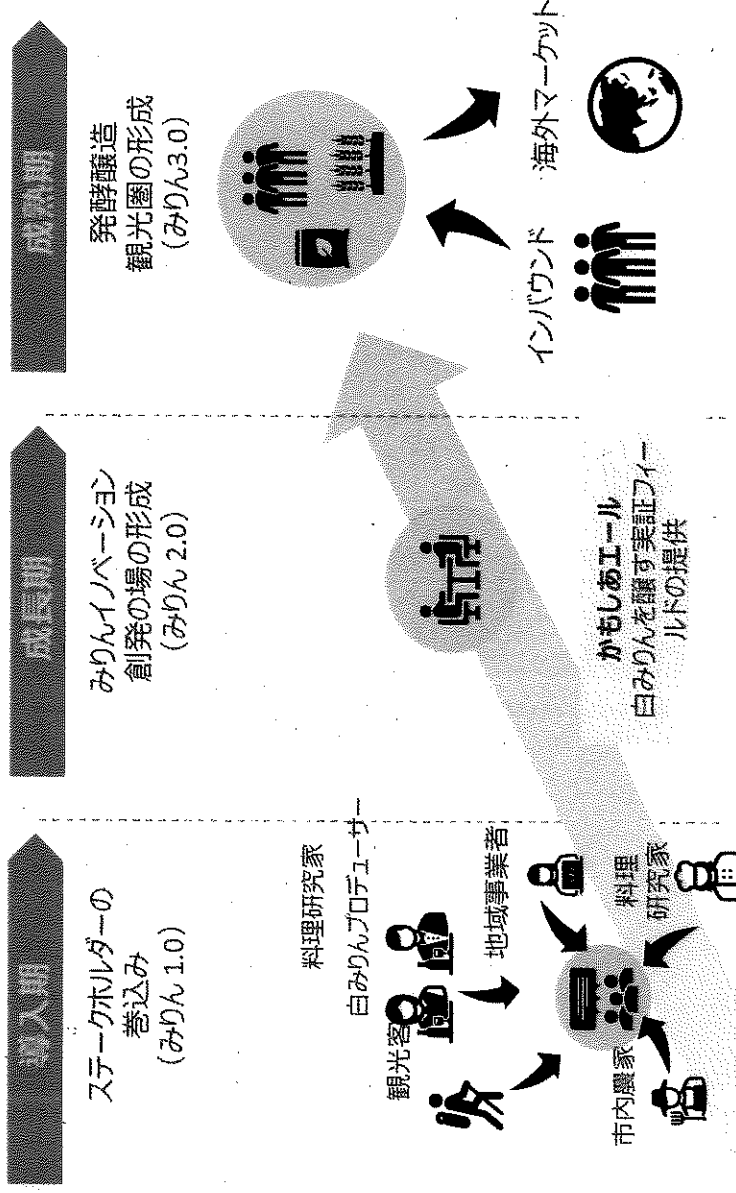
- ・ 地域資源に愛着を持ち、地域の将来を担うローカルインベーターを育成したい

新たな町の収益の柱

- ・ 町の強力なコンセプトに基づく新しい収益の柱を地域の事業者が作り出したい

産業創出・産業集積

- ・ 町内からの起業家の創出、外部からの企業誘致による流山市ならではの企業創出・産業集積



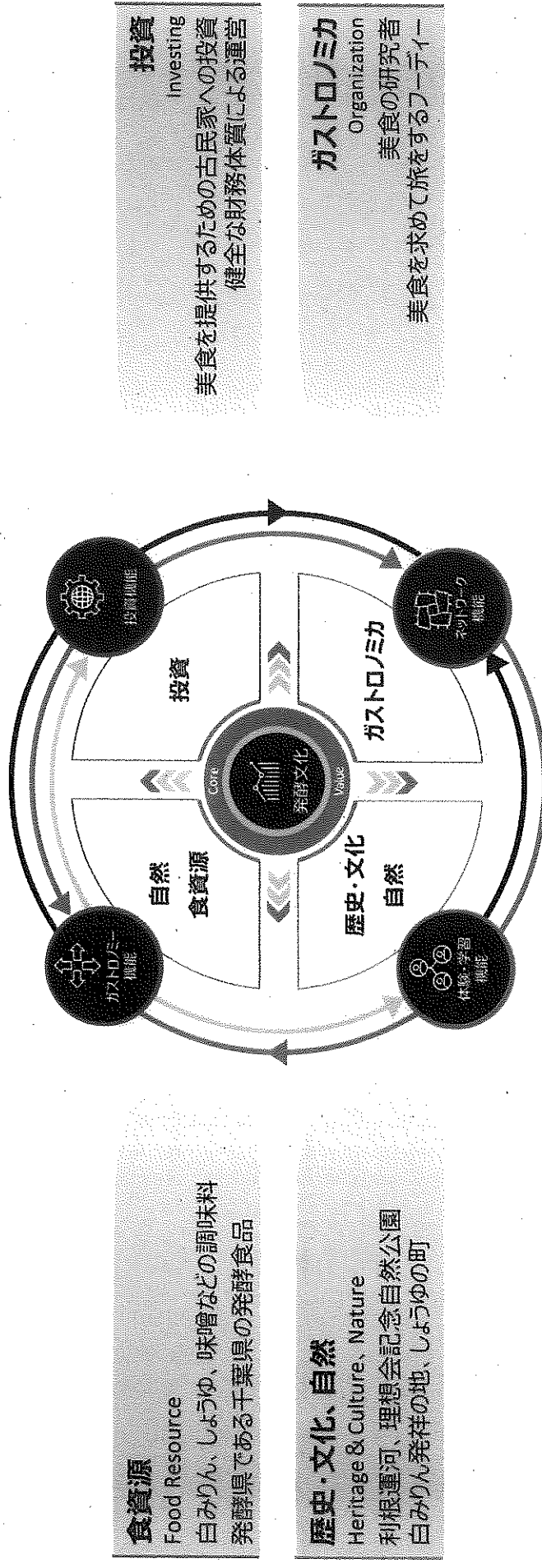
- ・ 白みりんの魅力を強力に情報発信
- ・ 白みりんマイスターが、白みりん文化を醸し出す

- ・ 地域事業者と地域住民が白みりん文化を育む
- ・ 新しい料理研究家を呼込むイノベーションを創発の場の構築

- ・ 下総地域の発酵事業者が連携
- ・ 発酵文化ツーリズムとしてインバウンドの取り組みを図る

ガストロノミクスは、発酵食をコアバリューに下総発酵醸造観光圏の地域資源を活用して、地域の事業の経済循環全体にドライブをかけていく取組です。

下総発酵醸造観光圏におけるガストロノミクスの全体構造



発酵 Hakko

江戸川と利根川流域において、先駆者なき道を切り拓いてきた発酵文化をコアバリューとして、食をテーマとしたまちづくりを戦略的に展開してきました。

美食 Gastronomy

和食の成長に欠かせないみりん・しょうゆを使った美食を提供する事業者を集約的に支援し、美食を求めて旅をするフーディーに対して提供していきます。

ネットワーク network

発酵料理を研究する人、発酵料理を食べる人、美食を求めて旅をする人との幅広いネットワークを構築し、地域の美食価値の底上げを図ります。

投資 Invest

古民家ビジネスを中心とした革新的な技術・設備への投資に必要な補助金・交付金を確保し、持続可能性のある財務体質改善策を導入します

ガストロノミクス Gastronomics

イノベーター、初期採用者たるフーディーを呼び込み、ガストロノミーというコンデンツによって、経済循環に断続的なドライブをかけていきます。

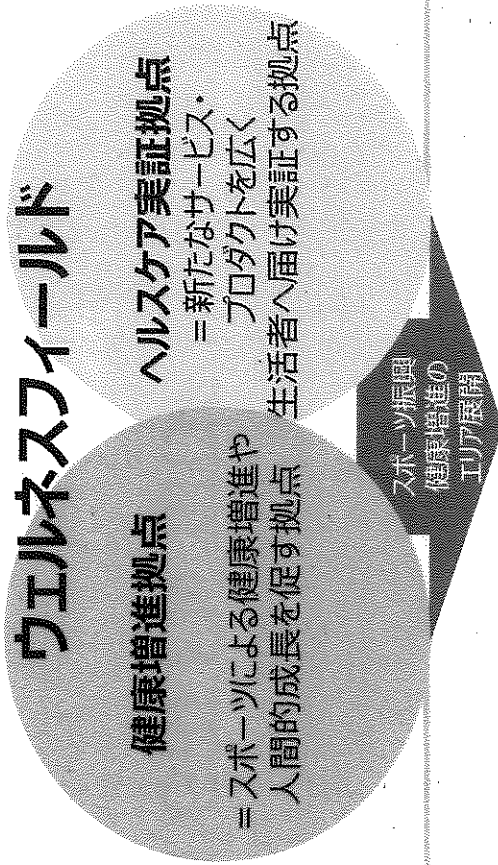
ウェルネスエリア

「スポーツを楽しむ場」としての健康増進拠点と、「新しいトライをする場」としてのヘルスケア実証拠点の機能を整備し、両輪で運用していくことが望ましい

流山スポーツフィールドは、住宅都市流山が抱える社会課題をスポーツとイノベーションを通して解決していきます。流山市民の健康増進機能に加え、新たなサービス・プロダクトを幅広い生活者へ届けるヘルスケア実証拠点としての機能を付加していく。

これらの2つの拠点を両輪で回していくことにより、流山スポーツフィールドとしての強固な健康増進エコシステムを形成し、流山市内へのスポーツ振興・健康増進へとつなげていきます。

流山スポーツフィールドの全体像

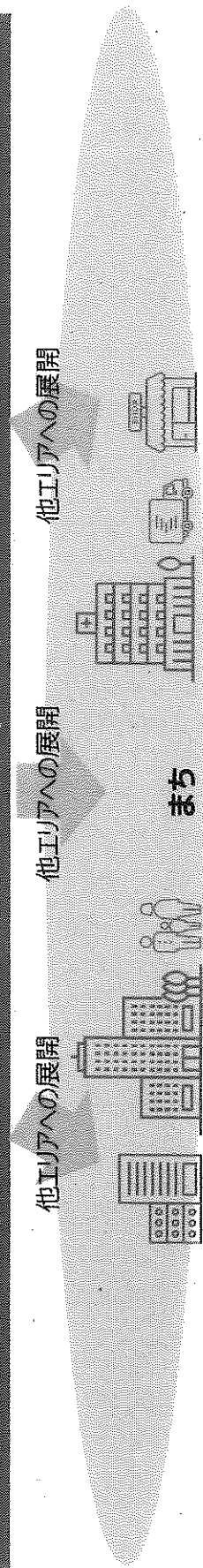


- ▶ 市民スポーツの場（サッカー・野球）
- ▶ 多世代の交流の場

- ▶ 産官学によるイノベーション共創
- ▶ 新たなアイデア・プロダクトの開発

- ▶ 賑わいイベント
- ▶ サッカー・野球
- ▶ ライフサイエンス

流山スポーツフィールド

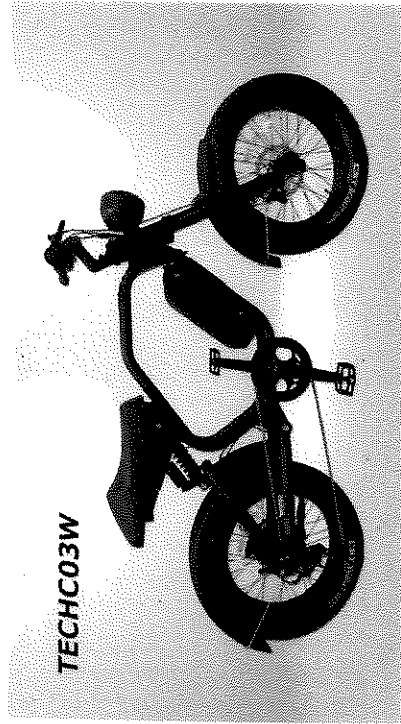


NAGAREYAMA GREEN RIDE

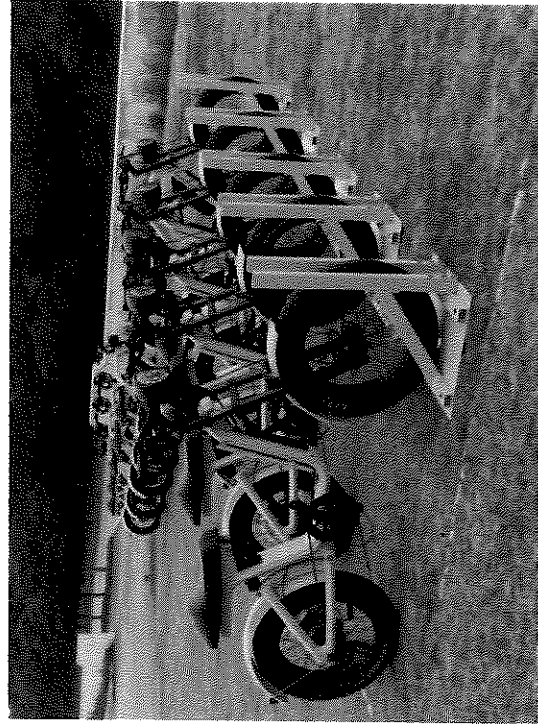
導入車両

世界に1種類だけの車両として、流山市独自のラッピングを行い、自然景観や歴史的資源をめぐることができるアクティビティとして導入する

アメリカンバイクを意識した車両

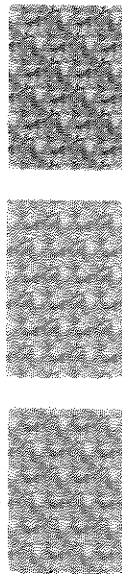


日本国産A7204アルミ合金採用
30e8ショックオリジナル一体型フレーム構造
VOC (揮発性有機化合物)ゼロ
耐走行距離 70km (アシストは日本産全周駆動車、走行条件により異なります)



NAGAREYAMA I CAMO
ナガレヤマ
イカモ

「ナガレヤマイカモ」は市外から訪れる観光客の方はもちろん、市民の皆さんにも「流山っていかも！」と感じていただけるコトやモノを、流山の魅力が詰まったカモフラージュデザインを通して発信していくツーリズムプロジェクトです。



NATURAL A

NATURAL B

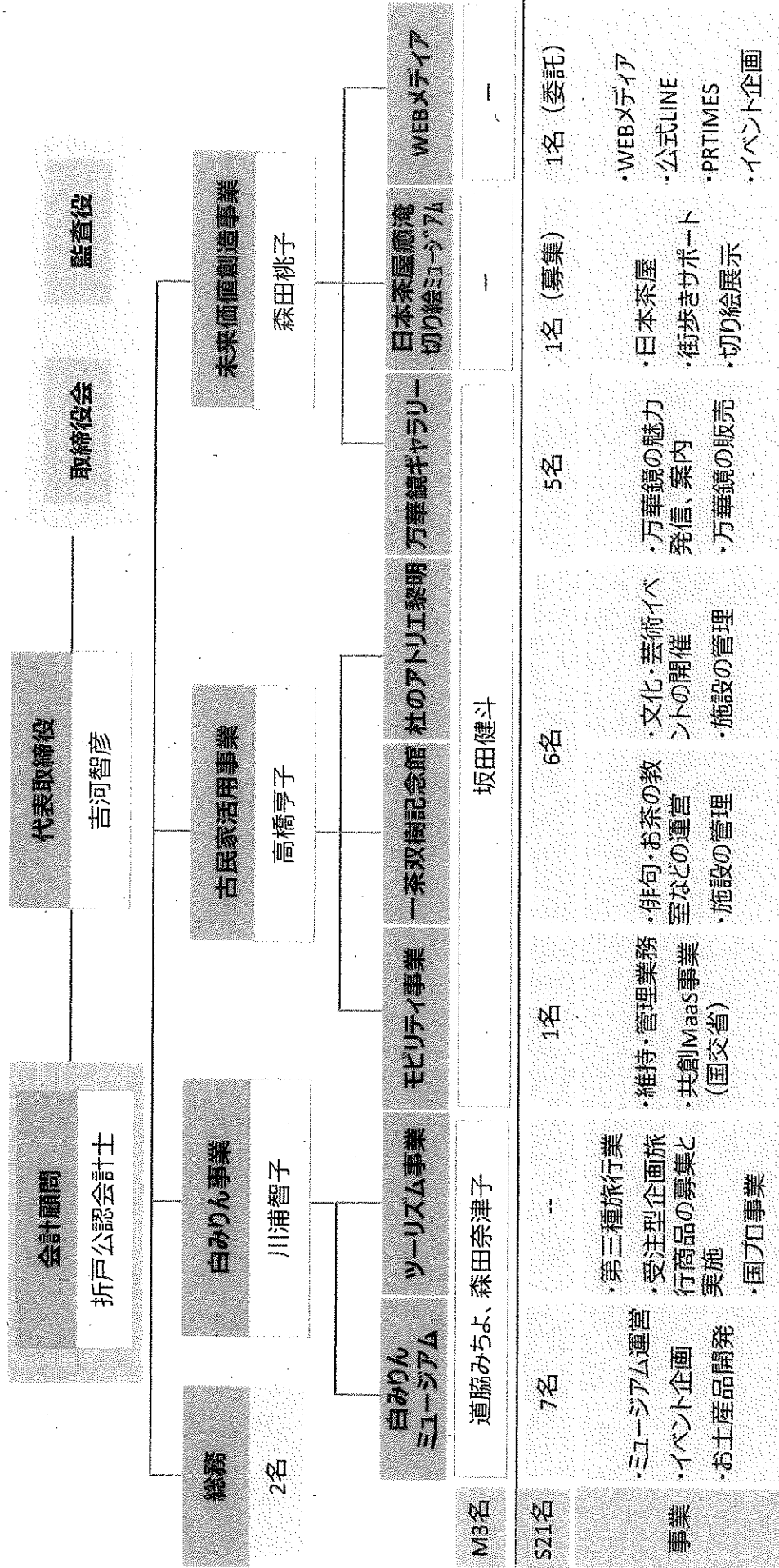
POP A

組織体制

古民家活用事業のマネジメント人材の採用、白みりんミュージアムの提案に向けて、マネジメント人材と“食”分野の人材採用を強化する

FY25 30名体制

- 観光地域づくり法人 DMO
- ・ 流山市や地域の優良企業16先からの出資を受けながら観光地域づくりを行う法人
 - ・ 流山市のみならず、市外、大手民間企業との連携を視野に入れながら新しい観光まちづくりを起す



問合せ先

株式会社流山ツールイズムデザイン

〒270-0164
千葉県流山市流山2-101-1

■ 代表取締役 CEO

吉河 智彦

中小企業診断士 国内旅行業取扱管理者

電話: 090-4181-9812

メールアドレス: Tomohiko.Yoshikawa@nagareyama-td.com